

新年の挨拶

新年あけましておめでとうございます。ただ今年は元旦早々から能登半島での大規模な地震が起こり、現在も被災された方々が寒さの中で大変なご苦労をなさっていることを思うと胸が痛みます。阪神大震災の記憶がいやおうなしによみがえってまいります、あのとき私は神戸市立中学校の教員として避難所の運営に携わっておりました。家族と離れ、ライフラインの絶たれた中で避難所に寝泊まりしながら周辺がゴースタウンと化した自宅との往復をしていたことを思い出します。ただ、そこで私が強く感じたのは避難所の中に重度の知的障害者の方がおられなかったことです。皆さん、集団での生活になじめないなどの理由で車中生活などをされていたことをあとで知りました。避難所では気持ちが不安定になる方も多く、少しのことでいさかいが起こったり、いろいろありました。私ぐくれよん方式の療育を考案し、くれよんという事業所を立ち上げた目的の1つは「療育を広め、重度の知的障害者の方が避難所で家族と共に他の人と共生できるようにする」ことです。

皆様のご協力、ご理解のもと、くれよんは日々運営できておりますが、創設の理念から考えればまだまだ理想には遠いことをこの新年早々の災害を目の当たりにして痛感した次第です。

令和6年元旦のこの大災害を機に少しでも理念に近い事業所運営をし、多くの人のお役に立てる くれよんでありたいと決意を新たにいたしました。

頑張って参りますので本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長 中山 一

くれよん方式

理事長 中山 一

くれよんが「なぜ学習に力をいれるのか」「なぜ身体の動きを止めるのか」について説明してまいりましたが、大切なことは「パッと見ただけではわからない」、つまりやや困った行動は「わかっていてやっている」、わからないことが多いのは「何となく遅れている」という漠然とした根拠のない見方をされやすく、知的に障害のある方は苦労をされている、という事です。肢体不自由の方には車椅子などの補助具、視覚障害の方には白杖と点字ブロック、聴覚障害の方には補聴器等があり、「バリアフリー」が声高に叫ばれていますが、知的障害の方はほとんどが「心の問題」としてとらえられ、手を差し伸べられることが少ない現状です。他の障害の方のご苦労は理解したうえで、やはり知的障害の方の「脳の問題」が取り上げられなければ幸福は訪れない、と考え、私は脳科学を土台とした「くれよん方式」の療育をしています。

続きは次回に…

YouTube チャンネルも随時更新中！ →



2月の予定

全体	With	Wel	Wam
20日(火) 工賃日	7日(水) 卓球	7日(水) 卓球	21日(水) 卓球
27日(火) 運営会議(昼帰り)	9日(金) レクリエーション(ミント)	21日(水) 卓球	レクリエーション
28日(水) ダンスプログラム	13日(火) レクリエーション(オレンジ)		
	17日(土) ヨガ(バレンシア)		
	21日(水) レクリエーション(就B)		

くれよんホーム神楽

[共同生活援助・短期入所]

〒 653-0836 神戸市長田区神楽町 5-3-14-2
☎ 078-646-3515 ☎ 078-646-3516
✉ mitsuki.shimomura@crayon.or.jp

With くれよん

[就労継続・生活介護]

〒 653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-1
☎ 078-385-1982 ☎ 078-797-4009
☎ 078-385-1984 ☎ 078-786-3551
✉ crayon@crayon.or.jp
🌐 <http://www.crayon.or.jp>

Wel くれよん Wam くれよん

[就労継続・生活介護]

Green Green

〒 653-0036 神戸市長田区腕塚町 5-3-1
☎ 080-4641-9040

